

平成23年度第2回社会教育委員会議 会議概要

【開催日時】 平成23年8月24日(水) 午後3時から4時50分まで

【開催場所】 議事堂 第2委員会室

【出席者】

(委員)

浅間委員、飯牟礼委員、岡本委員、近藤委員、篠原委員、柴田委員、中尾委員、中島委員、藤田委員、星野委員、森委員、山口委員、弓場委員、渡辺委員 (14名出席) 2名欠席

(職員)

山根生涯学習部長、深山文化・スポーツ課長、市原文化・スポーツ課主幹、西沢文化・スポーツ課主幹、野口鳥の博物館長、木村生涯学習課長(兼公民館長)、井上図書館長(事務局) 鷲見副参事、小川主査、湯下主事

【傍聴人】 1人

【委嘱状の交付】

- 1 中村教育長より、委嘱状を交付。 委嘱期間:平成23年8月1日～26年7月31日
- 2 挨拶 中村教育長
- 3 委員・職員自己紹介
挨拶 山根生涯学習部長

【会 議】

4 議事

1) 正副委員長の選出について (進行:生涯学習部副参事)

生涯学習部副参事) 委員長の選出までの会議の進行は、私が執り行いと思うが、よろしいか。
(異議なしの声あり)

生涯学習部副参事) 委員長が選出されるまで私が議長を務めます。委員長の選任は、社会教育委員規則の規定により互選で行いたい。それでは、どなたか委員長に立候補される方はいないか。

(声なし)

生涯学習部副参事) 立候補される方はいないようなので、どなたかを委員長に推薦する方はいないか。

近藤委員) 渡邊陽一郎さんを推薦したい。渡辺さんは、前社会教育委員の副委員長として、これまで会議を補佐し、また、公民館運営部会では部会長を務めてもらった等の実績がある

ことから推薦したい。

生涯学習部副参事）他にどなたか委員長に推薦してくれる方はいないか。

（声なし）

生涯学習部副参事）それでは、皆さんに諮りたい。渡辺陽一郎さんを社会教育委員長として推薦があったが、如何か。

（異議なしの声あり）

生涯学習部副参事）渡辺さんに委員長をお願いしたい方は、拍手をお願いします。

（拍手多数）

生涯学習部副参事）拍手は全員によりありましたので、前社会教育委員副委員長の渡辺陽一郎さんを委員長に願する。これからの会議の議事については、渡辺委員長にバトンタッチをしたい。

渡辺委員長）委員長という大役を務めることになった渡辺です。私は子どもの健全育成活動にたたき上げのような形で取り組んできたが、皆さんには各自の見識を会議で出してもらい、市の社会教育の振興に寄与していただきたい。

渡辺委員長）副委員長の選任を議題とする。どなたか、立候補する方はいないか。

渡辺委員長）いないので、私から推薦をさせてもらう。今回、社会教育委員を再任された中尾さんをお願いしたい。如何か。

（異議なしの声あり）

渡辺委員長）それでは、中尾委員に副委員長をお願いします。

中尾副委員長）中尾葉子です。新しい委員の方が 10 名おりますが、意見や質問が多い、和やかな雰囲気のある会議が進められるようにしたい。

2) 会議の公開について

〈事務局(生涯学習部副参事)より会議の公開に伴う傍聴要領案(資料2)を説明〉

弓場委員）この傍聴(案)は「我孫子市審議会等の会議の公開に関する規則」に則って傍聴要領を定めるということか。

事務局）その通りである。同規則第6条の傍聴手続等の規定に基づいて当会議の傍聴要領を定めるものである。

渡辺委員長）この傍聴要領案については、よろしいかを諮りたい。

（異議なしの声あり）

渡辺委員長 この傍聴要領(案)を社会教育委員会議の傍聴要領とする。(案)は削除して欲しい。

3) 社会教育、社会教育委員の役割について

〈事務局(生涯学習部副参事)より資料3を補足説明する。〉

弓場委員 部会の設置については、「委員長が委員のうちから指名する者をもって構成される」と施行規則にあるが、「委員のうち」とは私たちのメンバーの中からか。

渡辺委員長 そのとおりである。部会の設置については、次回の会議の議題としたい。

星野委員 現在のところ、こういう部会を立ち上げたいという案はないのか。

渡辺委員長 現在のところはない。後日皆さんにどのような部会を立ち上げたいか提案してもらいたい

星野委員 高齢者社会に向けての対応が急務であることを感じており、生涯学習の役割は大きい。部会を立ち上げ、検討してもらいたいと思っているが、市の生涯学習にかかる予算はいくらか。

生涯学習部長 直接的な答えにはならないが、教育費の中で生涯学習部が所管している22年度の予算額は、社会教育費は9億7千万円、保健体育費の内、生涯学習部関連で約2億6千万円である。その中に、社会教育総務、公民館、文化、図書館、生涯学習センター、博物館、体育関係などに振り分けられている。

4) 本市の社会教育の取り組みについて

〈各所管課より資料5を補足説明する〉

星野委員 高齢社会に向けて、退職OBや子育て、介護を終えた方の能力を社会貢献にいかしてもらいたい。我孫子市はもっとこのことに力を入れる必要がある。将来、市民は行政に頼るより、地域に頼ることになるので、社会教育としても施策を考えてもらいたい。

文化振興の歴史保存については、我孫子駅周辺の明治から大正にかけての白樺派の文化歴史に焦点をあてて、杉村楚人冠、村川別荘などの整備を進めているが、もっと我孫子市固有の土着的なものの保存に力を入れて欲しい。湖北高校跡地の場所は古墳時代の有力な文化財がある場所である。市は保存の指定を考えて欲しい。

生涯学習部副参事 教育委員会では、社会教育としての具体的な取り組みはしていないが、意見の内容については、市の高齢福祉、市民活動を所管する課において担うべき部分が大いかと思う。今後、教育委員会が社会教育として現代的な課題や地域課題への取り組みを検討する際の意見とさせてもらいたい。

文化・スポーツ課主幹) 文化財の保存では、白樺派への施策と同レベルで考えている。委員の発言内容は手賀沼拠点整備計画として、10年間で手賀沼周辺を整備し、本年度は3年目を迎えている。

湖北高校は歴史的にも重要な場所と認識している。現在、県の史跡として指定しており、保存している。

弓場委員) 沢山の事業が行われているが、実施形態が業務委託以外の事業は市職員が中心になって管理運営しているのか。

生涯学習課長) そのとおりである。職員若しくは、社会教育指導員が中心になって学級運営している。

弓場委員) 長寿大学は市の職員が運営しており、市民カレッジはNPOに業務委託しているがこの長寿大学、市民カレッジを社会教育として形をなすために、市職員の労力と予算がどのくらいかかっているのか。二つを対比するとどうか。

生涯学習課長) 市民カレッジの「我孫子を知る」コースでは、40万円、「女性魅学」コースは42万円の委託契約をしているが、市職員の係る労力である人工、人件費はかなり減っている。その意味で人件費の面では効果があったと判断している。

弓場委員) 事業を手広げれば良いのかというと、人と金をかけてやれば良いということではない。コストパフォーマンスを確認しながらやる必要がある、市では既にやっていると思うが。

中島委員) 社会教育に係る民間委託はどのくらいの数があるのか。

生涯学習部副参事) 全庁的に市の業務で民間に任せられるものについては、民間に委託をするようにという趣旨の方針がある。社会教育部門で、この提案型公共サービス民営化制度による業務委託は、公民館の講座とアビスタの管理・運営業務がある。

弓場委員) 資料10ページ、図書館の目標の2を読むと、さし当り、放射能汚染問題、原発問題に関連した図書の購入だと考えるが、事故後どのように対応しているのか。

図書館長) 放射性物質に関する本はこれまでもあった。今回の事故を受けて、放射能関連図書が数多く出版されている。図書館では被害そのものの基本的な知識やこのような事故を起こさないようにするにはなどの観点から数十点の関連図書を購入している。

森委員) 様々な事業を実施しているが、市町村、県も含め、我孫子市の社会教育のレベルは進んでいるのか、遅れているのか。また、予算は少ないのか、多いのか、全国で我孫子市は

どのようなポジションにあるのか。夕張市ではいろいろな施設を作って大変な状況になってしまったが、我孫子市の社会教育でこの事業には金をかけるべきだとか、この事業には金をかけ過ぎているというものはあるのか。

生涯学習部副参事) 図書館の市民一人当たりの蔵書数や貸出冊数などの数値は、他自治体との充実度を比較する上で、有効である。但し、各市町村の特性や事情・課題などの社会的構造が違うので、一概に当市の社会教育の施策や予算額の数字を以てして、我孫子市の社会教育が進んでいるとか、全国的にこのようなポジションにある、と言うことは難しい。

渡辺委員長) 施設のありようについては、後日、市内の社会教育施設視察が計画されているので、質問もその際をお願いしたい。

星野委員) 本市の図書館には専門的な図書が少ないと思う。市民の中には専門的な図書を所蔵している方がいると思うので、その方々から図書館に図書の寄贈を受けてはどうか。柏市では行っている。

図書館長) 我孫子市でも既に図書の寄贈を受けている。寄贈を受けた図書の内容によっては県立図書館にその本をまわすこともある。

なお、図書館では、利用者からリクエストを受けた本が、市で所蔵していない場合は、他市、県、国から図書の取り寄せを行い、利用者に貸し出している。(但し国の本は館内閲覧のみ)

以上